

心血管疾患ロジックモデル【概要図】 (指標などの標記なし)



心血管疾患ロジックモデル【各指標と評価】 (全体版)

資料4-2

C 初期アウトカム (+個別政策アウトプット)

番号	C個別政策アウトプット	番号	C初期アウトカム	C初期アウトカム指標	備考	初期値(前年度実績)	初期値の年又は年度	現状値	現状値の年又は年度	目標値	評価
1	生活習慣病予防、重症化予防に係る取組	1	高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙等の危険因子の管理ができている	C101 みやぎヘルスサテライトステーション登録施設数	※	127	令和3年9月	149	※	145	▶
				C102 喫煙者(男性)減煙指導実施数	※	33.2%	令和2年	32.5%	※	20%	▶
				喫煙者(男性)減煙指導実施率(注1)		9.7%	令和元年	8.1%	※	6%	▶
				喫煙者(女性)減煙指導実施数	※	11.7%	令和2年	9.1%	※	6%	▶
				喫煙者(女性)減煙指導実施率(注1)		16.2%	平成28年	17.4%	※	12%	▶
				ハイリスク飲酒者の割合(男性)		8.0%	平成28年	9.1%	※	6%	▶
				ハイリスク飲酒者の割合(女性)		4.5	平成27年度	4.7	※	(注2)-	▶
				糖尿病患者の年齢調整死亡率(男性)		1.8	平成27年度	1.9	※	(注2)-	▶
				糖尿病患者の年齢調整死亡率(女性)		11.4%	平成28年	10.3%	※	9%	▶
				過剰摂取率(男性)		9.5%	平成28年	9.4%	※	8%	▶
				過剰摂取率(女性)		6,930歩	平成28年	7,283歩	※	9,000歩	▶
				1日の歩数(20~64歳男性)		6,331歩	平成28年	6,413歩	※	8,500歩	▶
				1日の歩数(20~64歳女性)		5,692歩	平成28年	4,402歩	※	7,000歩	▶
				1日の歩数(65歳以上男性)		4,594歩	平成28年	5,018歩	※	6,000歩	▶
				1日の歩数(65歳以上女性)		17.0%	令和2年度	14.3%	※	11%	▶
				肥満傾向者の出現率(中学生・生)		11.0%	令和2年度	11.1%	※	8%	▶
				肥満傾向者の出現率(中学生・生)		61.2%	令和元年	61.7%	※	70%	▶
				特定保健指導実施率		25.2%	令和3年	25.1%	※	45%	▶
				特定保健指導実施率(中高年)		31.4%	令和3年	32.2%	※	29%	▶
				みやぎヘルスサテライトステーション登録施設数(再開)		127	令和3年9月	149	※	145	▶
2	療養者に携わる人材の育成	2	特定保健指導-特定保健指導を受けることができる	C201 特定保健指導実施率	※	61.2%	令和元年	61.7%	※	70%	▶
				C202 特定保健指導実施率	※	25.2%	令和3年	25.1%	※	45%	▶
				C203 特定保健指導実施率(中高年)	※	31.4%	令和3年	32.2%	※	29%	▶
				C204 特定保健指導実施率(再開)	※	127	令和3年9月	149	※	145	▶
3	応急手当の普及	3	本人及び家族等周囲にいる者が救命措置に適切に救急搬送の要請ができている	C301 首通し-上級救急講習受講人口1万人あたり1人の受講者数	※	163	令和3年	66.8	※	170	▶
4	応急手当の普及	4	心肺停止が疑われる者に対してAEDの使用が可能な市民の割合	C302 市民向け応急手当講習の受講者数	※	90分	令和3年	82分	※	50分	▶
5	救急隊員の養成	5	救急隊員が活動プロトコルに則し、適切な観察・判断・処置が実施できている	C501 救急隊員の活動プロトコルに則した観察・判断・処置が実施できている割合	※	47	令和元年	24	※	50	▶
6	傷病者の搬送	6	急性期医療機関へ迅速かつ安全な搬送ができる体制が整っている	C601 救急隊員が活動プロトコルに則した観察・判断・処置が実施できている割合	※	55.2%	令和3年	57.4%	※	80%	▶
				C602 ドクターヘリの搬送件数	※	91.0%	令和2年	92.1%	※	100%	▶
				C603 救命救急センターの搬送件数	※	23	令和2年	23	▶	25	▶
				C604 ドクターヘリの搬送件数	※	351	令和3年度	417	▶	モニタリング指標	▶
				C605 救命救急センターの搬送件数	※	21.2%	平成29年	(確認中)	※	21	▶
7	地域包括ケアシステムの構築	7	24時間心臓救急等の心血管疾患の急性期医療に対応できる体制が整っている	C701 循環器内科施設数	※	10.2人	平成30年	9.5人	※	令和2年	▶
				C702 循環器科医数	※	2.3人	平成30年	2.3人	▶	モニタリング指標	▶
				C703 循環器科医員数	※	0.2	平成29年	0.1	※	令和2年	▶
				C704 循環器科医員数	※	0.5	令和2年10月	0.5	▶	モニタリング指標	▶
				C705 循環器科医員数	※	2.3	令和2年10月	1.1	▶	モニタリング指標	▶
				C706 大動脈手術が可能な施設数	※	0.7	令和2年10月	0.8	▶	モニタリング指標	▶
				C801 心臓血管病リハビリテーションが実施可能な施設数	※	55	平成29年度	74	▶	モニタリング指標	▶
				C802 心臓血管病リハビリテーションが実施可能な施設数	※	20	令和2年3月	21	▶	モニタリング指標	▶
9	地域包括ケアシステムの構築	9	回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	C901 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	55	平成29年度	74	▶	モニタリング指標	▶
				C902 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	1244.2	令和2年	1826.6	▶	モニタリング指標	▶
				C903 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	323.1	令和2年	265.7	▶	モニタリング指標	▶
				C904 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	56.7	令和2年	72.8	▶	モニタリング指標	▶
				C905 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	103.8	令和2年	97.6	▶	モニタリング指標	▶
				C906 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	20	令和2年3月	21	▶	モニタリング指標	▶
				C907 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	165回	令和元年	280	▶	285回	▶
				C908 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	0.2	令和3年12月	0.2	▶	モニタリング指標	▶
				C909 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	259	令和2年度	231	▶	378	▶
				C910 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	21.5	令和2年1月	25.6	▶	モニタリング指標	▶
				C911 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	76%	令和3年3月	70%	▶	80%	▶
10	在宅療養の充実	10	在宅療養の充実	C1001 訪問診療を実施している病棟数・診療所数	※	259	令和2年度	231	▶	378	▶
				C1002 訪問看護を実施している病棟数・診療所数	※	21.5	令和2年1月	25.6	▶	モニタリング指標	▶
				C1003 訪問薬剤師を実施している薬局数(注)	※	76%	令和3年3月	70%	▶	80%	▶

資料4-5

B 中間アウトカム

番号	B中間アウトカム	番号	B中間アウトカム指標	備考	初期値(前年度実績)	初期値の年又は年度	現状値	現状値の年又は年度	目標値	評価
1	心臓病等の心血管疾患の発生を予防している	B101 心臓病(高血圧症のものを除く)の受療率(入院)	※	46人	平成28年度	44人	※	令和2年	モニタリング指標	▶
		B102 心臓病(高血圧症のものを除く)の受療率(外来)	※	53人	平成28年度	83人	※	令和2年	モニタリング指標	▶
		B103 虚血性心疾患受療率(入院)	※	11	平成29年度	11人	※	令和2年	モニタリング指標	▶
		B104 虚血性心疾患受療率(外来)	※	42	平成29年度	28人	※	令和2年	モニタリング指標	▶
2	心臓病等の心血管疾患の重症化を予防している	B201 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	41.7%	令和元年	44.9%	▶	令和3年	39.5%	▶
		B202 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	13.5%	令和元年	9.8%	▶	令和3年	13.9%	▶
		B203 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	9.1%	令和元年	5.5%	▶	令和3年	10.2%	▶
		B204 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	55.7%	令和元年	54.5%	▶	令和3年	61.2%	▶
3	急性期医療機関に専門的な診療を提供している	B301 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	65.4%	令和元年	62.9%	▶	令和3年	70%	▶
		B302 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	207.1	令和元年	171.4	▶	令和3年	70%	▶
		B303 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	94.6	令和元年	66.1	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B304 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	1885.6	令和元年	2054.7	▶	令和3年	モニタリング指標	▶
		B305 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	107.8	令和元年	108.6	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B306 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	386.6	令和元年	364.1	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B307 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	105.8	令和元年	101.1	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B308 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	32.5	令和元年	39.6	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B309 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	47.3	令和元年	59.3	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B310 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	6.3	平成29年	6.8	▶	令和2年	6	▶
		B311 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	3時間59分	令和元年	4時間15分	▶	令和3年	3時間45分	▶
		B312 救急搬送(救急から救急機関へ)の受療率	※	121	令和3年	120	▶	令和4年	モニタリング指標	▶
4	回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	B401 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	1885.6	令和元年	2054.7	▶	令和3年	モニタリング指標	▶
		B402 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	107.8	令和元年	108.6	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B403 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	285.7	令和元年	151.4	▶	令和3年	モニタリング指標	▶
		B404 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	28.1	令和元年	25.3	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B405 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	386.6	令和元年	364.1	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B406 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	105.8	令和元年	101.1	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B407 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	32.5	令和元年	39.6	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B408 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	47.3	令和元年	59.3	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B409 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	6.3	平成29年	6.8	▶	令和2年	6	▶
		B410 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	9119.9	平成29年度	10758.9	▶	令和3年	モニタリング指標	▶
		B411 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	3612.7	令和30年度	436.0	▶	令和2年	モニタリング指標	▶
		B412 回復期・慢性期・再発予防期の医療機関等と急性期の医療機関やリハビリテーション施設との連携体制が整っている	※	18	令和2年9月	78	▶	令和3年3月	75	▶

資料4-4

A 分野アウトカム

番号	A分野アウトカム	番号	A分野アウトカム指標	備考	初期値(前年度実績)	初期値の年又は年度	現状値	現状値の年又は年度	目標値	評価
1	心血管疾患による死亡が減少している	A101 心血管疾患による死亡(男性)	※	65.1	平成27年度	62.8	▶	令和2年度	60	▶
		A102 心血管疾患による死亡(女性)	※	30.9	平成27年度	28.6	▶	令和2年度	29.4	▶
		A103 大動脈疾患による死亡(男性)	※	7.7	平成27年度	6.8	▶	令和2年度	7.9	▶
		A104 大動脈疾患による死亡(女性)	※	3.9	平成27年度	3.1	▶	令和2年度	3.3	▶
		A105 虚血性心疾患による死亡(男性)	※	25.5	平成27年度	23.3	▶	令和2年度	22.6	▶
		A106 虚血性心疾患による死亡(女性)	※	9.5	平成27年度	7.0	▶	令和2年度	8.7	▶
		A107 急性心臓病による死亡(男性)	※	75.5	平成25年~平成29年	—	▶	令和4年4月	令和3年4月	▶
		A108 急性心臓病による死亡(女性)	※	84.5	平成25年~平成29年	—	▶	令和4年4月	令和3年4月	▶
		A109 心不全による死亡(男性)	※	90.3	平成25年~平成29年	—	▶	令和4年4月	令和3年4月	▶
		A110 心不全による死亡(女性)	※	88.3	平成25年~平成29年	—	▶	令和4年4月	令和3年4月	▶
		A111 心疾患全体の標準化死亡率(男性)	※	100.2	平成25年~平成29年	—	▶	令和4年4月	令和3年4月	▶
		A112 心疾患全体の標準化死亡率(女性)	※	97.3	平成25年~平成29年	—	▶	令和4年4月	令和3年4月	▶
		A113 健康寿命(男性)	※	72.9年	令和元年	—	▶	令和6年度	73.15年	▶
		A114 健康寿命(女性)	※	75.10年	令和元年	—	▶	令和6年度	75.22年	▶
2	心血管疾患の患者が日常生活の中で質の高い生活を送ることができる	A201 在宅療養環境を確保した心血管疾患患者の割合	※	96.8%	平成29年	—	▶	令和5年度	98%	▶
		A202 健康寿命と平均寿命の差(男性)	※	8.82年	平成28年	8.72	▶	令和元年	8.51年	▶
		A203 健康寿命と平均寿命の差(女性)	※	12.86年	平成28年	12.56	▶	令和元年	12.63年	▶

改善 ◀ ▶ 悪化 ▶ 変化なし ➡ 達成

資料4-3

心 A 分野アウトカム(拡大版)

資料4-3

備考) ※がついている値は、は人口10万対

※目標値は令和5年度末
(時点が異なる場合は時点も記載)

番号	A分野 アウトカム	A分野 アウトカム指標	備考 ※	初期値 (計画策定 時の値)	初期値の値の 年又は年度	現況値	現況値の 年又は年度	目標値	評価	
1	心血管疾患による死亡が減少している	A101	心疾患の年齢調整死亡率(男性)	※	65.1	平成27年度	62.8	令和2年度	60.9	◆すべての項目が良くなっている(目標も達成している項目が多い) ◆今回、評価できない項目が多い
			心疾患の年齢調整死亡率(女性)	※	30.9	平成27年度	28.6	令和2年度	達成 29.4	
			大動脈瘤及び解離の年齢調整死亡率(男性)	※	7.7	平成27年度	6.8	令和2年度	達成 7.0	
			大動脈瘤及び解離の年齢調整死亡率(女性)	※	3.9	平成27年度	3.1	令和2年度	達成 3.3	
			虚血性心疾患の年齢調整死亡率(男性)	※	25.5	平成27年度	23.3	令和2年度	22.6	
			虚血性心疾患の年齢調整死亡率(女性)	※	9.5	平成27年度	7.0	令和2年度	達成 8.7	
		A102	急性心筋梗塞の標準化死亡比(男性)		75.5	平成25年 ~平成29年	—	◆令和6年4月 頃更新	初期値から5ポイント下げる	
			急性心筋梗塞の標準化死亡比(女性)		84.5	平成25年 ~平成29年	—	◆令和6年4月 頃更新	初期値から5ポイント下げる	
		A103	心不全の標準化死亡比(男性)		90.3	平成25年 ~平成29年	—	◆令和6年4月 頃更新	初期値から5ポイント下げる	
			心不全の標準化死亡比(女性)		88.1	平成25年 ~平成29年	—	◆令和6年4月 頃更新	初期値から5ポイント下げる	
		A104	心疾患全体の標準化死亡比(男性)		100.2	平成25年 ~平成29年	—	◆令和6年4月 頃更新	初期値から5ポイント下げる	
			心疾患全体の標準化死亡比(女性)		97.3	平成25年 ~平成29年	—	◆令和6年4月 頃更新	初期値から5ポイント下げる	
		A105	健康寿命(男性)		72.90年	令和元年	—	◆令和6年度 頃更新予定	73.15年	
			健康寿命(女性)		75.10年	令和元年	—	◆令和6年度 頃更新予定	75.22年	

2	心血管疾患の患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができる	A201	在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合		96.8%	平成29年	—	◆令和5年度 更新見込み	98% (令和2年)	◆すべての項目が良くなっている(目標も達成している項目が多い)
		A202	健康寿命と平均寿命の差(男性)		8.82年	平成28年	8.72	令和元年	8.51年	
			健康寿命と平均寿命の差(女性)		12.86年	平成28年	12.56	令和元年	達成 12.63年	

改善 悪化 変化なし

目標達成

心 B 中間アウトカム(拡大版)

資料4-4

備考) ※がついている値は、は人口10万対

※目標値は令和5年度末(時点が異なる場合は時点も記載)

番号	B中間アウトカム	B中間アウトカム指標	備考※	初期値(計画策定時の値)	初期値の値の年又は年度	現況値	現況値の年又は年度	目標値	評価	
【予防】										
1	心筋梗塞等の心血管疾患の発症を予防できている	B101	心疾患(高血圧症のものを除く)の受療率(入院)	※	46人	平成26年度	44人	令和2年	モニタリング指標	(すべてモニタリング指標)
			心疾患(高血圧症のものを除く)の受療率(外来)	※	53人	平成26年度	83人	令和2年	モニタリング指標	
		B102	虚血性心疾患受療率(入院)	※	11	平成29年度	11人	令和2年	モニタリング指標	
			虚血性心疾患受療率(外来)	※	42	平成29年度	28人	令和2年	モニタリング指標	

【救護】										
2	心筋梗塞等の心血管疾患の疑われる患者が、できるだけ早期に疾患に応じた専門的診療が可能な医療機関に到着できる	B201	救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間		41.7分	令和元年	44.9分	令和3年	39.5分	◆すべての項目が悪くなっている(目標も未達成)
		B202	心肺機能停止の1か月後の予後(一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1か月後の生存率)		13.5%	令和元年	9.8%	令和3年	13.9%	◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)を行い、関連する取組を改善等する必要がある
			同(一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の生存率1か月後の社会復帰率)		9.1%	令和元年	5.5%	令和3年	10.2%	
		B203	急性心筋梗塞発症から6時間以内に入院した患者数の割合		55.7%	令和元年度	54.5%	令和3年	61.2%	

【急性期】										
3	発症後早期に専門的な治療を開始し、心血管疾患リハビリテーション、心身の緩和ケア、再発予防の定期的専門的検査を受けることができる	B301	来院後90分以内の冠動脈再開通達成率		65.4%	令和元年度	62.9%	令和3年	70%	◆すべての項目が悪くなっている(目標も未達成)、その他はモニタリング指標 ◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)を行い、関連する取組を改善等する必要がある
		B302	急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベンションの実施件数	※	207.1	令和元年度	171.4	令和3年	モニタリング指標	
			急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベンションの実施件数(SCR)		94.6	令和元年度	66.1	令和2年	モニタリング指標	
		B303	虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術件数	※	9.9	令和元年度	8.7	令和3年	モニタリング指標	
		B304	入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数	※	1885.6	令和元年度	2054.7	令和3年	モニタリング指標	
			入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数(SCR)		107.8	令和元年度	106.6	令和2年	モニタリング指標	
		B305	心血管疾患患者に対する緩和ケアの実施件数	※	386.6	令和元年度	364.1	令和2年	モニタリング指標	
			心血管疾患患者に対する緩和ケアの実施件数(SCR)		105.8	令和元年度	101.1	令和2年	モニタリング指標	
		B306	虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数	※	32.5	令和元年度	39.6	令和2年	モニタリング指標	
			虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数(SCR)		47.3	令和元年度	59.3	令和2年	モニタリング指標	
		B307	虚血性心疾患の退院患者平均在院日数		6.3	平成29年	6.8	令和2年	6	
		B308	急性心筋梗塞発症から再灌流までに要する時間(中央値)		3時間52分	令和元年	4時間15分	令和3年	3時間45分	
B309	急性大動脈解離に対する緊急手術件数		121	令和3年	120	令和4年	モニタリング指標			

【回復期・慢性期・再発予防】										
4	合併症や再発予防、在宅復帰や日常生活の場で再発予防のための心血管疾患リハビリテーションと心身の緩和ケアを受けることができ、合併症発症時には適切な対応を受けることができる	B401	入院心血管疾患リハビリテーション実施件数(再掲)	※	1885.6	令和元年度	2054.7	令和3年	モニタリング指標	◆改善している項目と、悪くなっている項目の両方あり、その他はモニタリング指標
			入院心血管疾患リハビリテーション実施件数(SCR)(再掲)		107.8	令和元年度	106.6	令和2年	モニタリング指標	
		B402	外来心血管疾患リハビリテーション実施件数	※	285.7	令和元年度	151.4	令和3年	モニタリング指標	
			外来心血管疾患リハビリテーション実施件数(SCR)		28.1	令和元年度	25.3	令和2年	モニタリング指標	
		B403	心血管疾患患者に対する緩和ケアの実施件数(再掲)	※	386.6	令和元年度	364.1	令和2年	モニタリング指標	
			心血管疾患患者に対する緩和ケアの実施件数(SCR)(再掲)		105.8	令和元年度	101.1	令和2年	モニタリング指標	
		B404	虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数(再掲)	※	32.5	令和元年度	39.6	令和2年	モニタリング指標	
			虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数(SCR)(再掲)		47.3	令和元年度	59.3	令和2年	モニタリング指標	
		B405	虚血性心疾患の退院患者平均在院日数(再掲)		6.3	平成29年	6.8	令和2年	6	
		B406	訪問診療の実施件数	※	9118.9	平成30年度	10756.9	令和3年	モニタリング指標	
		B407	訪問看護利用者数	※	3612.7	平成30年度	436.0	令和2年	モニタリング指標	
		B408	地域連携薬局の数		18	令和3年9月	76	令和5年3月	達成 75	

改善 悪化 変化なし

達成 目標達成

心 C 初期アウトカム①(拡大版)

備考) ※がついている値は、は人口10万対

※目標値は令和5年度末
(時点が異なる場合は時点も記載)

番号	C 個別施策 アウトプット	番号	C初期 アウトカム	C初期 アウトカム指標	備考 ※	初期値 (計画策定 時の値)	初期値の値の 年又は年度	現況値	現況値の 年又は年度	目標値	評価	
1	・生活習慣病予防、重症化予防に係る取組 ・循環器病の症例等の把握の取組	1	高血圧、脂質異常症、喫煙、糖尿病等の危険因子の管理ができています	C101	みやぎヘルスサテライトステーション登録施設数		127	令和3年9月	149	令和4年	達成	145
				C102	喫煙率(男性)国民生活基礎調査	33.2%	令和元年	—	—	20%	◆改善している指標と、悪くなっている項目の両方あり。 ◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)を行い、関連する取組を改善等する必要がある。	
					喫煙率(男性)県民健康・栄養調査(注1)	38.5%	平成28年	32.5%	令和4年	—		
				C103	喫煙率(女性)国民生活基礎調査	9.7%	令和元年	—	—	6%	◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)を行い、関連する取組を改善等する必要がある。	
					喫煙率(女性)県民健康・栄養調査(注1)	11.7%	平成28年	8.1%	令和4年	—		
				C104	ハイリスク飲酒者の割合(男性)	16.2%	平成28年	17.4%	令和4年	12%	◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)を行い、関連する取組を改善等する必要がある。	
					ハイリスク飲酒者の割合(女性)	8.0%	平成28年	9.1%	令和4年	6%		
				C105	糖尿病患者の年齢調整死亡率(男性)	4.5	平成27年度	4.7	令和2年度	(注2) —	(注1) 喫煙率については、国の調査結果が発表されていないので、参考までに県の調査を記載した。 (注2) 糖尿病患者の年齢調整死亡率については、計画策定時の初期値と目標値に誤りがあったため初期値を修正、目標値は未記載とした。	
					糖尿病患者の年齢調整死亡率(女性)	1.8	平成27年度	1.9	令和2年度	(注2) —		
				C106	塩分摂取量(男性)	11.4g	平成28年	10.3g	令和4年	9g	(注2) 糖尿病患者の年齢調整死亡率については、計画策定時の初期値と目標値に誤りがあったため初期値を修正、目標値は未記載とした。	
					塩分摂取量(女性)	9.5g	平成28年	9.4g	令和4年	8g		
				C107	1日の歩数(20~64歳男性)	6,930歩	平成28年	7,263歩	令和4年	9,000歩	(注2) 糖尿病患者の年齢調整死亡率については、計画策定時の初期値と目標値に誤りがあったため初期値を修正、目標値は未記載とした。	
					1日の歩数(20~64歳女性)	6,331歩	平成28年	6,413歩	令和4年	8,500歩		
					1日の歩数(65歳以上男性)	5,692歩	平成28年	4,402歩	令和4年	7,000歩		
1日の歩数(65歳以上女性)	4,594歩	平成28年	5,018歩		令和4年	6,000歩						
C107	肥満傾向児の出現率(中学1年生男)	17.0%	令和2年度	14.39%	令和3年	11%	◆改善している項目と、悪くなっている項目の両方あり					
	肥満傾向児の出現率(中学1年生女)	11.0%	令和2年度	11.18%	令和3年	8%						
2	・健診等に携わる人材の育成 ・保険者に対する専門的見地からの助言	2	特定健診・特定保健指導を受けることができています	C201	特定健診受診率		61.2%	令和元年	61.7%	令和3年度	70%	◆改善している項目と、悪くなっている項目の両方あり ◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)を行い、関連する取組を改善等する必要がある
				C202	特定保健指導実施率		25.2%	令和元年	25.1%	令和3年度	45%	
				C203	特定健診受診者のうちメタボリックシンドローム該当者数・予備群者割合		31.4%	令和元年	32.2%	令和3年度	29%	
				C204	みやぎヘルスサテライトステーション登録施設数(再掲)		127	令和3年9月	149	令和4年	達成	

3	・応急手当の普及啓発(蘇生訓練用 人形の寄贈)	3	本人及び家族等周囲にいる者が発症時に速やかに救急搬送の要請ができています	C301	普通・上級救命講習人口1万人あたりの受講者数		163	令和元年	66.8	令和3年	170	◆目標を達成できなかった。 ◆改善している項目と、悪くなっている項目の両方あり
				C302	発症から救急隊到着までの時間		90分	令和2年度	82分	令和3年	モニタリング 指標	
4	・応急手当の普及啓発(消防団関係 施設へのAED導入)	4	心肺停止が疑われる者に対してAEDの使用を含めた救急蘇生法等の適切な処置を実施することができる	C401	心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)全搬送人数のうち、一般市民により除細動が実施された件数		47	令和元年	24	令和3年	50	◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)を行い、関連する取組を改善等する必要がある
				C402	心原性心肺機能停止傷病者に対する一般市民の応急手当実施率		55.2%	令和元年	57.2%	令和3年	60%	
5	・救急救命士の養成	5	救急救命士を含む救急隊員が、活動プロトコルに則し、適切な観察・判断・処置が実施できている	C501	救急隊の救急救命士運用率(常時同乗している割合)		91.0%	令和元年	92.1%	令和3年	100%	
6	・傷病者の搬送及び受入れに関する基準の整備 ・ドクターヘリの安全かつ効果的な運用	6	急性期医療を担う医療機関へ迅速に搬送できる体制が整っている	C601	救急搬送実施基準に掲載している心疾患対応が可能な医療機関数		23	令和2年8月	23	令和2年	25	◆改善している項目と、悪くなっている項目の両方あり ◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)を行い、関連する取組を改善等する必要がある
				C602	ドクターヘリの要請件数		351	令和2年度	417	令和3年度	モニタリング 指標	
				C603	虚血性心疾患により救急搬送された患者の圏域外への搬送率		21.2%	平成29年	(確認中)	令和3年	モニタリング 指標	

7	・循環器病治療体制の更なる充実・強化 ・治療内容や医療連携に係る調査研究	7	24時間心筋梗塞等の心血管疾患の急性期医療に対応できる体制が整っている	C701	循環器内科医師数	※	10.2人	平成30年	9.5人	令和2年	モニタリング 指標	(すべてモニタリング 指標)
				C702	心臓血管外科医師数	※	2.3人	平成30年	2.3人	令和2年	モニタリング 指標	
				C703	心臓内科系集中治療室(CCU)を有する病院数	※	0.2	平成29年	0.1	令和2年	モニタリング 指標	
				C704	冠動脈バイパス術が実施可能な医療機関数	※	0.5	令和2年10月	0.5	令和3年10月	モニタリング 指標	
				C705	経皮的冠動脈形成術/経皮的冠動脈ステント留置術が実施可能な医療機関数	※	2.3	令和2年10月	1.1	令和3年10月	モニタリング 指標	
				C706	大動脈瘤手術が可能な医療機関数	※	0.7	令和2年10月	0.8	令和3年10月	モニタリング 指標	
8	・地域包括ケアシステムの 構築	8	急性期の医療機関等と回復期の医療機関やリハビリテーション施設の円滑な連携体制が構築されている	C801	退院支援担当者を配置している診療所・病院数		55	平成29年度	74	令和2年	モニタリング 指標	
				C802	心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数		20	令和2年3月	21	令和3年3月	モニタリング 指標	

心 C 初期アウトカム②(拡大版)

※目標値は令和5年度末

備考) ※がついている値は、は人口10万対

(時点が異なる場合は時点も記載)

番号	C 個別施策 アウトプット	番号	C初期 アウトカム	C初期 アウトカム指標	備考 ※	初期値 (計画策定 時の値)	初期値の値の 年又は年度	現況値	現況値の 年又は年度	目標値	評価	
9	・地域包括ケア システムの 構築(再掲)	9	回復期・慢性期・再発予防 期の医療機関等と急性期 の医療機関やリハビリテ ーション施設の連携体制が 整っている	C901	退院支援担当者を配置している診療所・病院数 (再掲)		55	平成29年度	74	令和2年	モニタリング 指標	◆モニタリング指標 以外では、悪くなっ ている項目が多い。 (目標はすべて未 達成) ◆値が悪くなってい るものは、状況把握 (理由・背景等の) を行い、関連する取 組を改善等する必 要がある
				C902	入退院支援の実施件数 入退院支援加算1	※	1244.2	令和元年度	1826.6	令和2年	モニタリング 指標	
					入退院支援の実施件数 入退院支援加算2	※	323.1	令和元年度	265.7	令和2年	モニタリング 指標	
					入退院支援の実施件数 入退院支援加算1(SCR)		56.7	令和元年度	72.8	令和2年	モニタリング 指標	
					入退院支援の実施件数 入退院支援加算2(SCR)		103.8	令和元年度	97.6	令和2年	モニタリング 指標	
				C903	心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医 療機関数(再掲)		20	令和2年3月	21	令和3年3月	モニタリング 指標	
				C904	介護支援専門員に対する多職種連携に向けた 支援回数		165回	令和元年	280	令和4年度	285回	
	C905	心不全看護分野の認定看護師数	※	0.2	令和2年12月	0.2	令和3年12月	モニタリング 指標				
10	・在宅療養の充実 ・地域包括ケア システムにおいて活 躍できる医療従事 者の育成	10	心血管疾患患者の在宅で の療養支援体制が整って いる	C1001	訪問診療を実施している病院数・診療所数	※	259	令和元年度	231	令和2年	378	
				C1002	訪問看護師数	※	21.5	令和2年1月	25.6	令和3年1月	モニタリング 指標	
				C1003	訪問薬剤指導を実施する薬局数の割合(医療)		76%	令和3年6月	70%	令和5年3月	80%	

